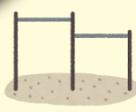


火垂るの墓



【ストーリー】

『火垂るの墓』は、作家・野坂昭如氏の戦争体験をもとにした小説。昭和20年の神戸空襲で母も家も失ったきょうだい(清太 14歳と節子 4歳)が、親戚の家に身を寄せるのだが…。生活の厳しい戦時下で、清太と節子が一生懸命生きようとする姿が描かれている。

震災記念公園に2020年6月に『火垂るの墓』記念碑が建てられました。ここ西宮での戦時中の様子が描かれているこの作品を、「陽なたの会」の朗読劇で、修学旅行で広島に行く前の大社小5年生の児童の皆さんに平和学習として鑑賞してもらっています。この度、地域の皆様にもご鑑賞いただく機会を設けましたので是非ご覧になってください。

陽なたの会：西宮市内のNPO法人
《シャクナゲ・子供の家》の事業の一つで近隣在住のボランティアが所属し、『火垂るの墓』記念碑建立をきっかけに2021年1月に発足し、朗読劇を制作、上演している。

安井地区の方もどうぞ！

日時：令和7年2月8日(土)

開場 14:00

開演 14:30

会場：大社小学校 ランチルーム

定員：50名

(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：無料

申込方法：下記のいずれかの方法で

☎ 080-6143-9207 (松村)

FAX 0798-70-6204

<http://sites.google.com/view/roudokugeki>

主催：大社地区青少年愛護協議会

協賛：大社公民館地域学習推進員会



『火垂るの墓』朗読劇鑑賞会 FAX 申込用紙

お名前	連絡先電話番号	お住まいの町名

FAX 0798-70-6204 松村まで